

# 病院の 実力

～埼玉編 104

今回の病院の実力は「胃がん」を取り上げる。毎年約13万人が新たに胃がんを診断されており、新規患者は大腸と肺に続いて多い。

## 胃がん

手術は、おなかを切り開く開腹手術と、腹部に開けた複数の小さな穴からカメラと器具を入れて切除する腹腔鏡手術の二つの方法がある。一覽表には手術（開腹と腹腔鏡の合計件数）、腹腔鏡手術、内視鏡治療の中でも比較的大きな胃がんを摘出できる内視鏡的粘膜下層剝離術（ESD）、

手術後に抗がん剤を使う補助化学療法の実績を掲載した。手術では、胃の3分の2以上を切除し、周囲のリンパ節を取り除く手法が一般的だ。がんが粘膜を越えた早期がんでは、腹腔鏡手術が可能な場合がある。体への負担が軽いのが特徴。

ESDは、口から入れた小型カメラで胃の中を確認しながら先端の電気メスではぎ取る。がんが粘膜内にあり、正常な組織との境目がはっきりしたケースが対象となる。胃を残すことができ、術後の合併症が少ない。治療後切り取った組織を調べ、がんが予想より深く、リンパ節転移の心配がある場合は手術が勧めら

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は11月6日「乳がん」の予定です。

## 腹腔鏡手術体の負担軽く

補助化学療法は、進行がんの手術後に取り切れなかった恐れがあるがんが大きくなるのを抑えるのが目的。行わなかった場合に比べ生存率が上がったことが臨床試験で確認されている。

病院の実力「胃がん」  
医療機関別2015年治療実績  
(読売新聞調べ)

医療機関名	手術(件)	腹腔鏡手術(件)	ESD(件)	手術後の補助化学療法(人)
<b>埼玉</b>				
埼玉医大国際医療セ	193	118	157	116
県立がんセ	169	96	92	24
埼玉医大総合医療セ	108	59	42	28
自治医大さいたま医療セ	108	28	152	40
独協医大越谷	99	20	100	23
戸田中央総合	84	7	43	9
深谷赤十字	70	—	57	—
済生会川口総合	69	19	66	30
東大宮メディカルセ	68	31	17	9
さいたま赤十字	62	41	124	4
上尾中央総合	54	23	54	12
埼玉石心会	53	14	31	18
さいたま市立	49	14	70	12
川口市立医療セ	46	5	44	11
埼玉協同	44	8	17	27
地・埼玉メディカルセ	43	6	21	19
蓮田	42	4	8	—
済生会栗橋	41	11	12	10
秀和総合	41	5	27	20
さいたま市民医療セ	40	10	40	11
越谷市立	38	4	16	11
春日部中央総合	29	6	0	7
春日部市立医療セ	21	4	20	5
小川赤十字	20	0	9	2
イムス三芳総合	17	0	12	0
新座志木中央総合	15	6	10	—
イムス富士見総合	10	0	0	0
赤心堂	7	1	9	5
県立循環器・呼吸器病セ	7	0	0	3
本庄総合	4	0	0	3
<b>群馬</b>				
県立がんセ	119	21	72	21
国・高崎総合医療セ	97	29	48	19
前橋赤十字	81	38	38	26
伊勢崎市民	69	25	43	11
済生会前橋	61	35	24	13
桐生厚生総合	50	6	15	14
地・群馬中央	49	20	49	10
公立富岡総合	46	0	0	12
太田記念	42	15	59	17
館林厚生	39	15	21	—
原町赤十字	21	1	15	5
くすの木	6	1	1	2
<b>千葉</b>				
国立がん研究セ東	256	184	172	40
県がんセ	138	56	217	35
国保旭中央	126	33	74	74
日本医大千葉北総	121	33	45	11
亀田総合	113	25	135	33
新東京	101	27	86	67
国・千葉医療セ	96	16	41	20
順天堂大浦安	91	81	33	16
慈恵医大柏	88	25	70	36
千葉大	84	52	148	19
成田赤十字	74	15	96	40
船橋市立医療セ	67	15	52	20
国保君津中央	53	5	64	9
千葉西総合	49	15	57	2
千葉メディカルセ	44	10	25	28
東京女子医大八千代医療セ	43	11	65	15
千葉市立海浜	42	25	27	5
国保松戸市立	39	13	37	16
千葉市立青葉	37	9	13	5
新松戸中央総合	35	12	23	7
聖隷佳会市立	24	0	4	0